

市川市の「平成」を振り返る

昨年5月、「平成」から「令和」へと元号が改まりました。およそ30年にわたる「平成」の時代、市川市の人口は、平成元年の約428,700人から平成30年には約492,700人と過去最高を記録しており、平成の時代に整備された社会インフラや市の施設も数多くあります。ここでは、主な市の施設から、本市の「平成」を写真とともに振り返ってみました。



消費税(3%)導入 平成元年
都営新宿線
本八幡駅開業 (1989)



平成元年
塩浜市民体育館開館
屋内相撲場やトレーニング室を備えた総合体育施設。

北総線北国分 平成3年
・大町駅開業 (1991)



平成6年
(1994)

阪神・淡路大震災 平成7年
地下鉄サリン事件 (1995)
冬季五輪長野大会 平成10年
(1998)

平成6年
生涯学習センター(メディアパーク市川)開館
中央図書館、文学ミュージアム、こども館などが入る。



地下鉄東西線 平成12年
妙典駅開業 (2000)



平成16年
大洲防災公園開設
耐震性飲料水貯水槽など様々な防災機能を備えた公園。



こみの12分別開始 平成14年
(2002)

平成16年
(2004)

東山魁夷記念館開館 平成17年
(2005)



平成21年
(2009)

平成16年
「行徳公会堂・市川七中行徳ふれあい施設」開設
民間と協働で建設するPFI方式で整備された複合施設。



広尾防災公園開設 平成22年
(2010)



平成21年
「アイ・リンクタウンいちかわ展望施設」開設
地上150mにある45階からは、360度の眺望が楽しめる。



東日本大震災 平成23年
(2011)

塩浜学園開校 平成27年
(2015)

都市計画道路3・4・18号全通 平成28年
(2016)

全日警ホール開館 平成29年
市役所仮本庁舎開設 (2017)

J:COM北市川スポーツパーク開設



平成30年
(2018)

平成30年
東京外かく環状道路千葉県区間供用開始
昭和44年の都市計画決定からおおよそ半世紀を経て開通。



傍聴のご案内

本会議と委員会は、原則として公開されており、自由に傍聴できます。

●本会議の傍聴(48席)
会議当日に市役所仮本庁舎5階の受付へ直接お越しください。住所・氏名を記入するだけで入場できます。

●委員会の傍聴(各7席)
仮本庁舎5階の議会事務局窓口で受付した後、委員会室へご案内します。

※傍聴するときは、受付時にお渡しする注意事項をお守りください。また、係員の指示に従ってください。



市川市議会では、本会議の様子を「いちかわインターネット放送局」(ライブ・録画)とYouTube(録画のみ)で配信しています。また、市川市議会ホームページでは定例会の日程や審議結果、会議録などの情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

市川市議会

検索



○令和2年定例会開会予定日○

| | |
|--------|----------|
| 2月定例会 | 2月19日(水) |
| 6月定例会 | 6月12日(金) |
| 9月定例会 | 9月4日(金) |
| 12月定例会 | 12月4日(金) |

※定例会が開会される見通しの日程であり、事情により変更される場合があります。